

取扱説明書

■簡易点検の実施について

フロン排出抑制法により、当製品の管理者(所有者など)には機器およびフロン類の適切な管理義務があります。
当製品では四半期に一回以上の簡易点検が必要になります。

簡易点検では以下の内容を目視確認してください。
・冷却ユニットに異常(損傷、腐食、錆、油にじみ)があるか。
・温度表示部の温度が設定温度と合っているか。
・製品の異常振動、異音はないか。

発売元

 **アルインコ株式会社**
〔住宅機器事業部〕

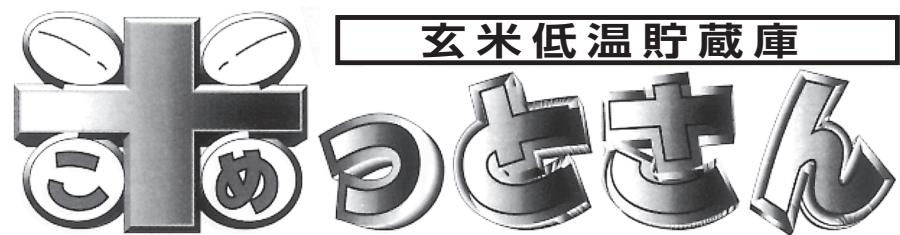
製造元

大和冷機工業株式会社

TWY・JTW・NTW-T6

お問い合わせは

D 2 5 7 8 9 B 0 K



このたびは当社の製品をお買上げいただきまして、まことにありがとうございます。製品を正しく使っていただくため、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みください。

取扱説明書をお読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

一 目 次 一

1. 安全上のご注意 1ページ
2. 各部のなまえとはたらき 3ページ
3. 据付けるときには 4ページ
4. お使いになる上でのご注意 6ページ
5. 運転操作 10ページ
6. 上手な使い方 11ページ
7. お手入れの仕方 12ページ
8. 修理・サービスを依頼する前に 13ページ
9. 移動・移設されるときは 13ページ
10. 処分されるときは 14ページ
11. 保証について 14ページ

1. 安全上のご注意

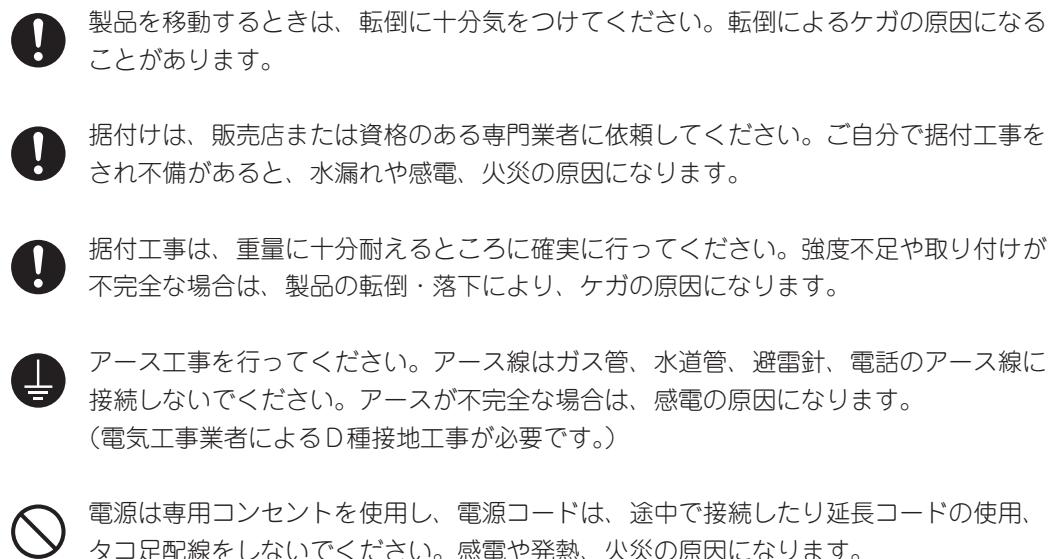
- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- この取扱説明書に示した注意事項は、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。
- 注意事項は、「警告」「注意」とあります。誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結び付く可能性が大きいものを特に「警告」の欄にまとめて記載しています。しかし、その他で記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

本文中の記号



- お使いになっている製品を譲渡されたり貸与されるときには、新しく所有者になる方が安全な正しい使い方を知るために、この取扱説明書を製品本体の目立つところに添付してください。

警 告



製品を移動するときは、電源プラグをコンセントから抜き、電源コードを傷つけないよう移動してください。コードの損傷により、感電・発火の原因になることがあります。

製品を移動するときは、貯蔵物および棚板などの部品は取り出してください。落下によるケガの原因になります。

10. 処分されるときは

製品の使用を一時的に中止して保管する場合は、幼児が遊ぶ場所を避け扉を密閉できないようにしてください。幼児が閉じ込められる原因になります。

廃棄は専門の業者に依頼してください。放置しますと幼児が閉じ込められるなど事故の原因になります。

廃棄の際はお住まいの地方自治体に相談の上、適切に廃棄してください。

■ フロンの回収について

- この製品は、フロン排出抑制法の第一種特定製品です。地球温暖化防止のため、適正にフロンを回収する必要があります。この製品を廃棄・整備する場合は、専門業者が行いますので、お買い上げの販売店または当社サービス店までご連絡ください。
 - [1] フロン類をみだりに大気中に放出することは禁じられています。
 - [2] この製品を廃棄・整備する場合には、フロン類の回収が必要です。
 - [3] フロン類の種類および数量は、製品銘板に記載されています。
 - [4] フロン類が未回収の機器は、引き渡しを禁止されています。
 - [5] フロン類の地球温暖化係数は右記の通りです。

冷媒	地球温暖化係数
R134a	1430
R404A	3920

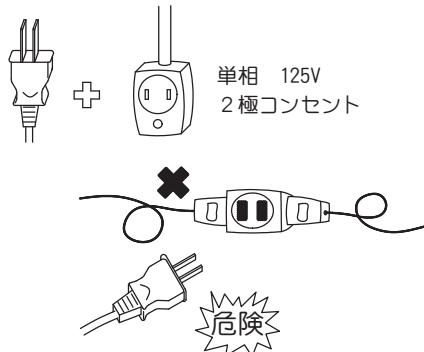
11. 保証について

- この製品は徹底した品質管理のもとにお届けいたしますが、万一故障した場合「保証書」の記載内容により保証期間内は無料修理をいたします。
詳細は「保証書」をお読みください。
- 食品の補償など、製品修理以外の責はご容赦ください。
- お客様ご自身での製品改造または修理につきましては保証をいたしかねます。
- 製品はたえず改良を行っていますので、予告なしに仕様を変更することがあります。
- 8ページの「正しくお使いいただくために」に記載の環境で使用した場合、保証をいたしかねます。

■ 電源は専用コンセントを

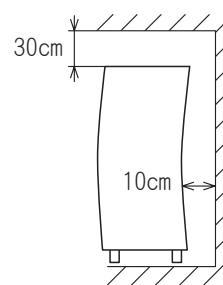
電源は専用コンセントを使用し、電源コードは途中で接続したり延長コードの使用、タコ足配線をしないでください。感電や発熱、火災の原因になります。

単相…125V 15A 2極コンセント



■ 風通しのよいところに

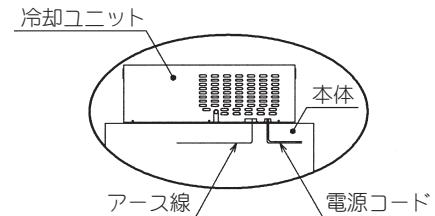
貯蔵庫上部は必ず30cm以上あけてください。特に機械室のあるところは空気がスムーズに流れるようにしてください。熱がこもると冷えが悪くなることがあります。換気扇などを設けて熱を逃すと効果的です。背面は必ず10cm以上、また側面も10cm以上あけてください。



■ 必ずアース工事を

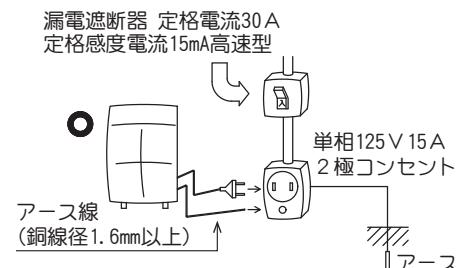
アース工事を行ってください。アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は感電の原因になります。

(電気工事業者によるD種接地工事が必要です。)



やむなく水気のあるところ、湿気のあるところでご使用になる場合は漏電遮断器を取り付けるように法律で定められています。上記以外のところでご使用になる場合でも万一の感電事故防止のため、漏電遮断器の取り付けをおすすめします。詳しくは販売店、または資格のある専門業者にご相談ください。

(注)漏電遮断器は定格容量30A、定格感度電流15mA高速型を使用してください。



警 告

屋外で使用しないでください。雨水のかかる場所で使用されると、漏電・感電の原因になります。

湿気の多いところや、水のかかりやすい場所に据付けないでください。絶縁低下から漏電・感電の原因になります。

製品に直接水をかけたり、水を使って洗ったりしないでください。ショート、感電の原因になります。

ぬれた手で電源プラグなどの電気部品には、触れないでください。またスイッチやボタン操作をしないでください。感電の原因になることがあります。

電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、たばねたりしないでください。また重いものを載せたり、挟み込んだりすると、電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

電源プラグは、ほこりが付着していないか定期的に確認し、刃の根元まで確実に差し込んでください。ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は感電や火災の原因になります。

漏電遮断器が作動した場合には、販売店または資格のある専門業者にご相談ください。無理な電源の復帰を行うと感電・火災の原因になります。

扉にぶら下がらないでください。扉の脱落や製品転倒によるケガまたは漏電・感電の原因になります。

揮発性、引火性のあるものは庫内に入れないでください。爆発や火災の原因になります。

専門業者以外の人は絶対に分解したり、修理・改造は行わないでください。異常動作してケガをしたり、修理に不備があると感電・火災などの原因になります。

製品の異常時は運転を停止して電源プラグを抜くか、元電源を切ってください。異常のまま運転を続けると感電・火災などの原因になります。

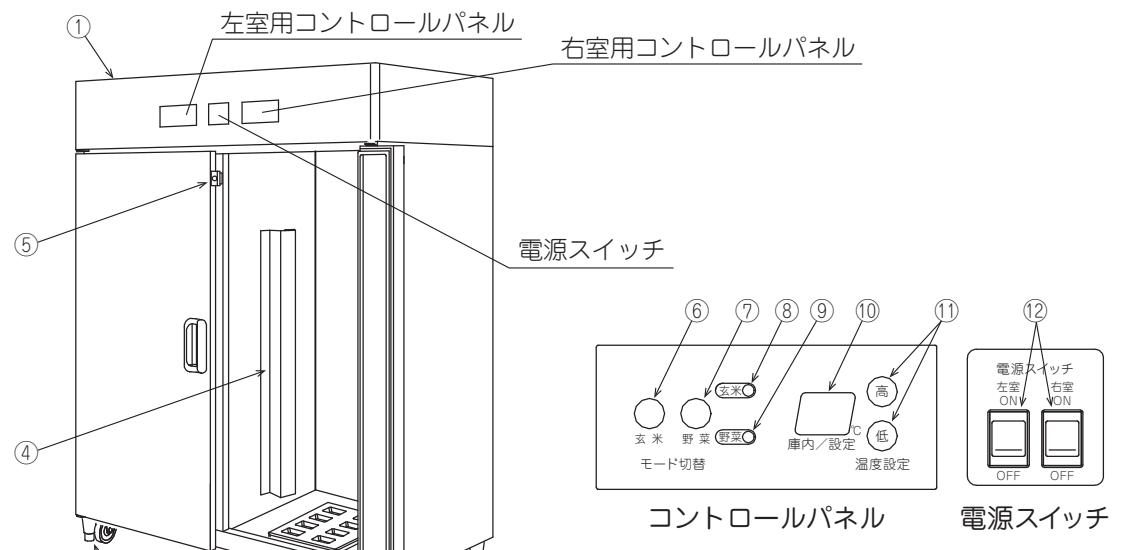
移設は、販売店または資格のある専門業者にご相談ください。据付不備があると水漏れ、感電、火災などの原因になります。

製品の使用を一時的に中止して保管する場合は、幼児が遊ぶ場所を避け扉を密閉できないようにしてください。幼児が閉じ込められる原因になります。

廃棄は専門の業者に依頼してください。放置しますと幼児が閉じ込められるなど事故の原因になります。

冷却ユニットに使用されている冷媒は安全です。冷媒は通常漏れることはありませんが、万一、冷媒が室内に漏れファンヒーター・ストーブ・コンロなどの火気に触ると有害ガスが発生する原因になります。冷媒漏れの修理の場合は、漏れ箇所の修理が確実に行われたことをサービスマンに確認の上、運転してください。

2. 各部のなまえとはたらき



① 冷却ユニット
この中に機械室があります。

② アジャスタ (脚)
本体を水平状態に調節してください。

③ キャスター
本体の移動の際に使用します。貯蔵物を入れたまま移動をさせないでください。

④ 柱
玄米袋などを壁に密着させないためのものです。

⑤ 鍵部
施錠するときに使用します。

⑥ 玄米モードボタン
玄米モード運転になります。
通常の玄米保管時に使用します。

⑦ 野菜モードボタン
野菜モード運転になります。
高湿運転のため玄米を保管しているときは
使用しないでください。

⑧ 玄米モードランプ
玄米モードのときに点灯します。

⑨ 野菜モードランプ
野菜モードのときに点灯します。

⑩ 温度表示
設定温度・庫内温度・異常表示・霜取を表示します。
霜取時には「DF」を表示します。
異常表示の種類は10ページに記載しています。

⑪ 温度設定ボタン
庫内温度の設定を行います。(2~20°C)

⑫ 電源スイッチ
右室用、左室用各冷却ユニットの電源「ON」「OFF」の切り換えに使用します。
※連続して「OFF」⇒「ON」を切り換える際は、5分以上間をおいて行ってください。

3. 据付けるときには

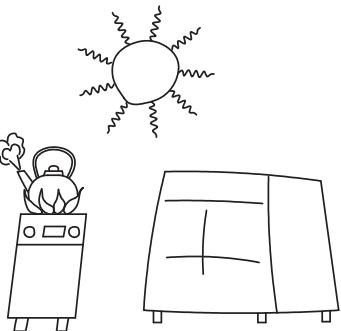
!
据付けは、販売店または資格のある専門業者に依頼してください。ご自分で据付工事をされ
不備があると、水漏れや感電、火災の原因になります。

■ ビニル被膜を剥がしてください

!
運送途中の事故を防ぐための梱包を外し
外装に貼ってある傷付き防止の薄いビニ
ル被膜を剥がしてください。ビニルは簡
単に剥げます。ビニルを貼ったまま長期
間放置しておきますと、ノリ残りが発生
し、のち剥げにくくなりますのでご
注意ください。

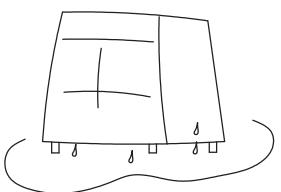
■ 熱のとどかないところに

!
直射日光のあたるところや、コンロ、ストー
ブなどの発熱源のそばには据付けないで
ください。冷却不良の原因になります。



■ ぬれても大丈夫なところに

!
梅雨時期や湿度の高い日など、本体につ
いた露が床に垂れることがあります。水
滴が落ちてはいけないところに据付けな
いでください。

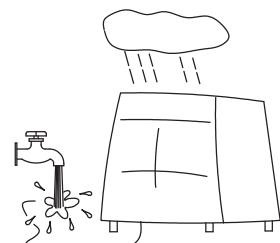


■ 据付けるときには

!
床面が平らで重量に十分耐えるところに
水平になるように据付け、転倒防止の処
置をしてください。強度不足や据付けに
不備があると水漏れ、転倒、落下による
ケガなどの原因になることがあります。
また、車両、船舶での使用はできません
ので必ず静止した状態でご使用ください。

■ 雨や水のかからないところに

!
湿気の多いところや、水のかかりやすい
ところに据付けないでください。絶縁低
下から漏電・感電の原因になります。また
屋外で使用しないでください。雨水の
かかるところで使用されますと、漏電・
感電の原因になります。



■ 据付環境について

!
次のような場所へ据付けないでください。
ユニットが故障する原因になります。

- ・油ミスト(厨房用換気扇近傍、機械油など)、塩分(海岸地区など)、硫化ガス(温泉地区など)などの多い環境
- ・可燃性ガスの発生、流入などの恐れのある場所
- ・酸性またはアルカリ性など腐食性雰囲気の場所
- ・高湿度蒸気の発生する恐れのある場所
- ・排熱ができない場所

■ 必ず次のことをお守りください

- !
周囲温度が5~35℃以外のところで使用しますと、電力の浪費ばかりでなく故障の原因になります。
- !
ラッカーペイントなど強燃性のスプレーや揮発性、引火性のある薬品およびその類似品は製品の近くで使用しないでください。スイッチの火花などで引火し発火の原因になることがあります。
- !
製品の近くでガス漏れが発生した場合、引火爆発を防ぐため、貯蔵庫やコンセントに手を触れずに、まずガスの元栓を閉めて換気をしてください。
- !
製品に直接水をかけたり、水を使って洗ったりしないでください。ショート、感電の原因になります。
- !
ぬれた手で電源プラグなどの電気部品には、触れないでください。またスイッチやボタン操作をしないでください。感電の原因になります。
- !
電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、たばねたりしないでください。また重いものを載せたり、挟み込んだりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
- !
電源プラグを抜くときは、プラグを持って行ってください。コードを引っ張って抜くと芯線の一部が断線して発熱・発火の原因になります。
- !
電源プラグを抜いたとき、電源スイッチをOFFにしたときは再び電源を入れるまで5分以上間をおいてください。すぐに電源を入れるとコンプレッサに負担がかかり一時に動かないことがあります。
- !
電源プラグは、ほこりが付着していないか定期的に確認し、根元まで確実に差し込んでください。ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は感電や火災の原因になります。
- !
漏電遮断器は定期的に動作確認をしてください。漏電遮断器を故障のまま使用すると、漏電のとき動作せず、感電の原因になります。
- !
漏電遮断器が作動した場合には、販売店または資格のある専門業者にご相談ください。無理な電源の復帰を行うと感電・火災の原因になります。
- !
製品の上には、ものや水を入れた容器を置かないでください。落下しケガをしたり、こぼれた水で電気部品の絶縁が悪くなり、漏電の原因になります。
- !
冷却ユニット部の上にものを載せたり、手を入れたりしないでください。ファンが高速回転していますので、発熱やケガの原因になります。
- !
扉にぶら下がらないでください。扉の脱落や製品転倒によるケガまたは漏電・感電の原因になります。
- !
製品の上に乗ったり、ものを載せたりしないでください。転倒・破損・落下などによりケガの原因になります。
- !
空気の吹出口や吸入口に指や棒などを入れないでください。ファンが高速回転していますのでケガの原因になります。
- !
長期間ご使用にならない場合は安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。ほこりが溜まって発熱、発火の原因になります。
- !
落雷により製品が故障することがあります。雷発生の際は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

4. お使いになる上でのご注意

- ・本製品には加温機能がありません。

冬季など周囲の温度が低い場合、庫内温度が設定温度より下がることがあります。貯蔵物の品質を損なう原因になる場合、別の場所に移すなどの処置をしてください。

■ お使いになる前に

- !
扉を開けてしばらく空気を庫内に送りこんでください。
庫内は十分に清掃していますが、念のためにもう一度きれいに清掃してください。



■ 製品の設置、移動

- !
製品の設置の際は、必ずアジャスタが接地するまでのはして使用してください。
- !
移設は、販売店または、資格のある専門業者にご相談ください。据付不備があると水漏れ、感電、火災などの原因になります。
- !
製品を移動するときは、転倒に十分気をつけてください。転倒によるケガの原因になります。
- !
移動の際は、貯蔵物を庫外に出してから移動させてください。

■ 野菜・果物などの貯蔵

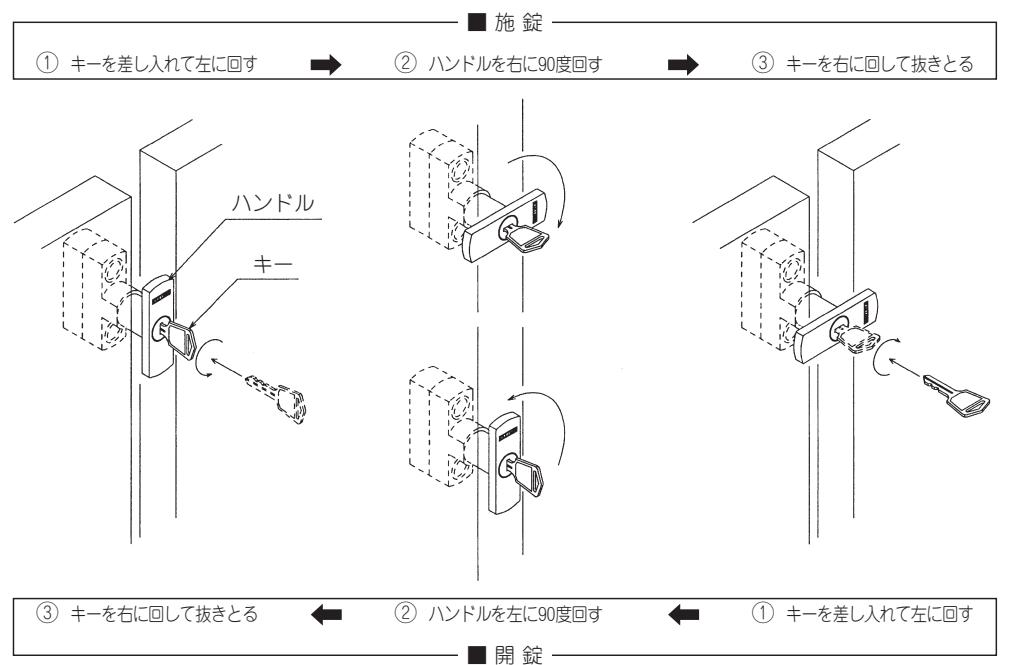
- !
野菜や果物の種類によっては、金属(冷却器)を腐食させるガスを発生するものがあります。必ずビニール袋などの密閉容器に入れて貯蔵してください。守らなければ故障の原因になります。疑わしい物につきましては販売店におたずねください。
- !
野菜や果物の種類によっては貯蔵温度、貯蔵期間が大きく変わりますので注意が必要です。最適な貯蔵温度や保管期間については、お近くの農協などの専門機関におたずねください。野菜類の収穫から出荷までの一時保管は3日間を限度としてください。この機械は、予冷(短期間で野菜や果物の温度を低下させる)には能力が不足する場合があります。あらかじめ試験を行うなどして能力を確認したうえで、ご利用ください。
- !
異なる作物を同じ部屋で貯蔵される場合は下記のこと注意してください。
 - ①玄米・乾物を、臭いの強い果物や野菜と一緒に貯蔵すると、臭いが移る恐れがあります。
 - ②玄米・乾物を、水気の多い野菜や果物と一緒に貯蔵すると、ぬれたり、カビが発生する恐れがあります。
 - ③貯蔵温度帯の異なる作物を貯蔵する場合は、作物にカビの発生や腐敗などの悪影響を及ぼす恐れがあります。

■ 玄米貯蔵

- !
玄米を貯蔵する場合は、水分を15%以下にまで乾燥して紙袋で貯蔵してください。
- !
冷えた玄米を外気にさらすと、表面に露が付き（結露）玄米の表面が白くひび割れを起こすことがあります。紙袋の口は開けないでください。精米直前に開封してください。
- !
精米を行う場合は袋を庫外に出し、中の玄米が外気温度と同じになってから精米してください。夏場は温度差が大きいため24時間以上の時間が必要です。
- !
初夏から夏（6～9月）にかけて玄米を取り出すときは早朝の温度が低いときに取り出すようこころがけてください。
- !
「玄米」／「野菜」モードの設定を「野菜」にして玄米を貯蔵しないでください。玄米にカビが発生します。必ず「玄米」にして使用してください。
- !
玄米と野菜を同時に貯蔵しないでください。庫内の湿度が上がり、玄米にカビが発生することがあります。

■ 施錠するときは

施錠装置は下図を参照してください。



■ 結露防止ヒータ

製品には結露防止用ヒータが装備されています。

このヒータは電源スイッチにより通電操作ができます。

左室、右室のいずれかが「ON」の場合：ヒータオン（常通）

左室、右室、共に「OFF」の場合：ヒータオフ

※片方のスイッチが「ON」の場合、「OFF」側があたたかくなることがあります。

■ 正しくお使いいただくために

- !
玄米・野菜・飲料品の保存用としてご使用ください。目的外の用途で使用されますと貯蔵物の品質低下や機械の故障の原因になることがあります。
- !
医薬品・学術試料などの保存はおやめください。警報装置のついた専用冷蔵庫をご使用ください。
- !
市販の袋入り寒冷剤（硝安・尿素を含む）は庫内に入れないでください。中身がもれると錆や故障の原因になります。
- !
貯蔵庫には肥料、薬品など金属を腐食させる物を入れないでください。
※冷却ユニットの冷却器が腐食したり、鋼板が錆びることがあります。
- !
エーテル・ベンジン・アルコール・プロパンガス・接着剤などの揮発性・引火性のある薬品およびその類似品は絶対に庫内へ入れないでください。爆発や火災などの原因になります。
- !
貯蔵庫でも凍ることがあります。庫内の吹出部に氷やカン類を入れないでください。中身が凍って割れ、ケガの原因になることがあります。
- !
保冷以外の用途に使用しないでください。
本ユニットは、保冷専用ですので、熱いものを庫内に入れないでください。
- !
吹出ダクトを取り外さないでください。
庫内の冷えが悪くなる原因になります。
- !
凝縮器の吸入口、温風吹出口のまわりに物を置かないでください。
冷えが悪くなり故障の原因になります。
- !
次の環境では熱交換器（アルミフィン、銅パイプ）などに腐食を起こし、ガス漏れを生ずる恐れがあり、保証をいたしかねます。ご使用をさけてください。
 - 油（機械油、動物性油脂、植物性油脂）のミスト、蒸気の多い場所
 - 硫化ガス（温泉地区、魚肉加工場など）の多い場所
 - 漬け物、海産物など塩分の多いものの貯蔵
 - 玉ねぎ、にんにく、ニラ、ネギ、卵など硫化ガスを発生するものの貯蔵や食品加工場
 - 酢飯、食酢などの酢酸を使用したものの貯蔵や食品加工場
 - 肉類、魚介類、揚げ物などアンモニア系ガスなどが発生するものの貯蔵や食品加工場
 - リンゴなどの酸性ガスを発生する果実類の貯蔵
 - 生ゴミ冷蔵など酸性またはアルカリ性の腐食性ガスが発生するものの貯蔵や食品加工場
 - 果実、精肉、鮮魚、生花、きのこなどの高湿度のものの貯蔵や食品加工場
 - トラックやフォークリフトなどの出入りが激しい貯蔵庫など排気ガス（酸性ガス、硫化ガス）が発生する場所
 - 食品加工工場などで次亜塩素酸ソーダを使用する場所
 - 化学薬品工場、下水処理場、動物飼育室、メッキ工場などの腐食性ガスが発生する場所

■ お手入れは

- 扉パッキンに乳酸飲料や調味料がついたままお使いになりますと、早く傷みます。また鉄粉などが付着しやすくもらい鏽の原因になりますので、こまめにふいてください。
- 扉パッキンの当たるところも忘れずにふいてください。
- 本体や扉パッキンはやわらかい布でふいてください。汚れのひどいときは、ぬるま湯か適量にうすめた食器用洗剤を含ませた布をよくしぼってふきとってください。洗剤はスプレーなどで直接かけないでください。
- 住宅用洗剤、シンナー、ベンジン、アルコール、石油、粉石けん、みがき粉、アルカリ性洗剤、熱湯、酸、塩素系殺菌消毒剤（次亜塩素酸ナトリウムなど）、たわし、化学ぞうきんなどは使わないでください。プラスチック、金属類を傷めることができます。
- 洗剤を使ったあとは洗剤分が残らないよう水を浸した布をよくしぼってふきとってください。
- 取っ手などの樹脂部分に直接洗剤をかけることは絶対にしないでください。

8. 修理・サービスを依頼する前に

- 故障かな？とお思いになりましたら、下記の点をご確認ください。
それでもなおならないときは、お買い上げの販売店または当社サービス店までご連絡ください。
- 専門業者以外の人は絶対に分解したり、修理・改造を行わないでください。異常動作してケガをしたり、修理に不備があると感電・火災の原因になります。
 - 製品の異常時は運転を停止して電源プラグを抜くか、元電源を切ってください。異常のまま運転を続けると感電・火災などの原因になります。

■ ぜんぜん冷えないときは

- 停電ではありませんか。
- コンセントの差し込みは確実ですか。
- ヒューズや漏電遮断器は切れていませんか。
- 電源スイッチがOFFになつていませんか。
- 周囲温度が高すぎませんか。

■ よく冷えないときは

- 直射日光を受けていませんか。
- 発熱器具がそばにありませんか。
- 扉を開けっぱなしにしていませんか。
- 食品をつめ込みすぎていませんか。
- 温度設定は適切ですか。

9. 移動・移設されるときは

- 移設は、販売店または、資格のある専門業者にご相談ください。据付け不備があると水漏れ、感電、火災などの原因になります。
- 製品を移動するときは、転倒に十分気をつけてください。転倒によるケガの原因になることがあります。

5. 運転操作

運転の仕方

■ 運転開始です

- 本体背面にある電源コードをコンセントに確実に差し込んでください。
(コントロールパネルのLEDが点灯しない場合は、電源スイッチがOFFになっている可能性があります。ONにして運転を開始してください。)
- 庫内が十分に冷えてから（2時間程度運転してから）貯蔵物を入れてください。

■ 庫内温度表示は

- 庫内温度はデジタル表示されます。
- デジタル表示が点灯時は運転中です。
 - 庫内温度の表示範囲は、-9～+40℃です。
- ※-9℃より低い場合は「L」を表示し、40℃以上の場合は「H」を表示します。

庫内の温度調節は

- 電源を入れたときには、「玄米」モード12℃に設定されています。
- 温度設定ボタンの「低」または「高」を押しますと、設定温度を表示します。
- 温度調節は、2～20℃の範囲で、1℃単位の設定ができます。

本製品は、庫内温度を設定した温度に対し+2～-1℃の範囲で制御するよう運転を行います。また、貯蔵物の入れ方によって貯蔵場所により温度ムラが発生する場合があります。

- 庫内温度をご確認のうえ、ご使用ください。
- 設定を低い温度に変更すると
 - 温度設定ボタン「低」を押し、設定温度を表示させます。
 - 1秒以上押しつづけると設定温度が変更されます。
 - ボタンを離すと、約5秒後に庫内温度表示にもどります。
 - 設定を高い温度に変更するときは、温度設定ボタンの「高」を押して操作します。

■ 霜取は

- マイコン制御により、全自動霜取を行います。
- 霜取中は、「DF」の表示をします。
- 霜取終了直後、設定温度より高い温度を表示することがあります。これは、冷却器付近の局部的な温度上昇を感じているため、貯蔵物に影響はありません。
- 霜取中は、庫内ファンモータは運転します。

■ 霜取排水は

- 霜取排水は冷却ユニット内で自動的に蒸発されます。但し、設置環境、使用状況などにより、オプションの排水ホースが必要になる場合があります。

異常表示

異常が発生した場合、その内容をお知らせする表示を行います。

種類	異常表示	表示内容
庫内温度異常	「H」と「L」を交互に点滅表示	庫内温度の高い状態が続いている。 <ul style="list-style-type: none">扉の閉め忘れは、ありませんか。周囲温度は、高くありませんか。 庫内温度が下がると解除されます。
庫内温度センサ異常	「H」と「L」を交互に点滅表示	センサに異常が発生しました。 この表示のときは、マイコンにより応急運転を行います。 お早めに、販売店、当社サービス店までご連絡ください。

6. 上手な使い方

■ コメ袋の積み方

○ つめ込みすぎは冷えむらや冷却不良の原因になります。
また冷気吸込口や冷気吹出口をふさがないでください。

!
玄米袋は均等になるように積んでください。片荷になりますと扉の段差が生じ、扉が閉めにくくなったり、本体に露が付く原因になります。

玄米袋は背面の柱にもたれさせるように整然と積んでください。玄米袋が崩れて倒れ出る原因になります。

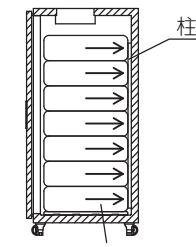
「玄米袋の上限」シールより上まで積まないでください。玄米を詰めた袋の形によっては、その数だけ入らないことがあります。

収容量は、あくまで目安としてください。

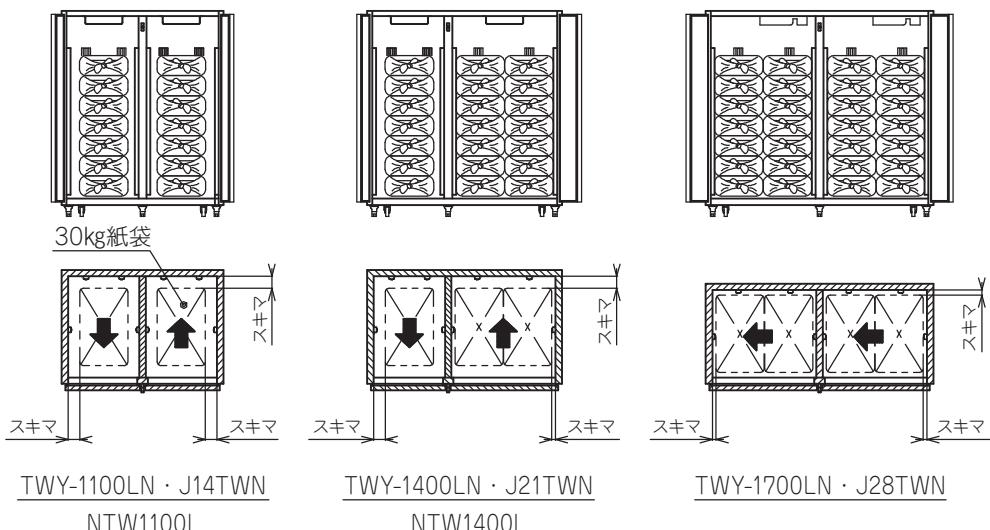
※30kg紙袋の寸法は、幅410mm、長さ610mm、高さ180mmとされています。

→ 冷気吹出し方向

機種名	室	積み方
TWY-1100LN	右	1列・7段
J14TWN	左	1列・7段
NTW1100L		
TWY-1400LN	右	2列・7段
J21TWN	左	1列・7段
NTW1400L		
TWY-1700LN	右	2列・7段
J28TWN	左	2列・7段



柱にもたれさせる

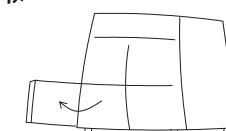


■ 扉の開閉はすみやかに

!
扉のむだな開閉は電力の浪費につながります。また、せっかくの冷気が逃げて庫内の温度が上昇してしまいます。特に長時間の開けっぱなしはさけてください。

(注)扉を閉めた直後、一時的に開きにくくなることがあります。

扉の開閉はすみやかに！



■ 扉の開閉

!
玄米袋の積み方により、扉が完全に閉まらないまま、もしくは隙間が開いた状態では、結露や、庫内に水が溜まり玄米にカビやひび割れを起こす原因になります。

コメ袋の積み方を参考にしてください。

!
本文中のコメ袋の積み方以外で積まれた場合、扉が完全に閉まってい可能性があります。

!
コメ袋を出し入れした際は扉が確実に閉まっていることを確認してください。

■ オプション棚の使い方

玄米袋が減ってきたら、別売の棚でビールやジュースを保管できます。

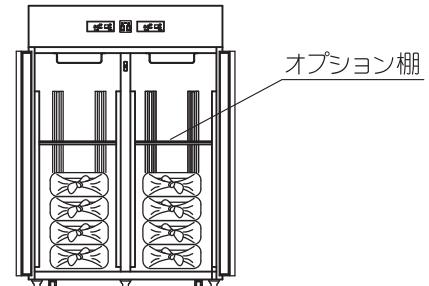
	TWY-1100LN(右, 左) TWY-1400LN(左) J14TWN(右, 左) J21TWN(左) NTW1100L(右, 左) NTW1400L(左)	TWY-1400LN(右) TWY-1700LN(右, 左) J21TWN(右) J28TWN(右, 左) NTW1400L(右)
棚の型式	棚柱あり MET800DT	MET1200T
棚柱なし	MET800D	MET1200
棚の寸法	455×485	755×485

!
玄米とビールやジュースなどをいっしょに入れる際は必ず「玄米」／「野菜」のモード設定を「玄米」にして使用してください。

!
棚には1枚あたり60kgを超えるものを載せないでください。棚を追加する場合は、合計150kg以下で使用してください。超えて使用すると棚の落下や破損によりケガの原因になることがあります。

!
棚には貯蔵物が均一になるように載せてください。

!
棚の取り付けは確実に行ってください。
脱落するとケガの原因になることがあります。



7. お手入れの仕方

■ 清掃のときは

!
清掃をするときや整備・点検のときは必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。感電やファンによるケガの原因になることがあります。

■ 水をかけないでください

!
この製品の外側や庫内へ直接水をかけて清掃することはショート、感電の原因になりますので絶対にさけてください。

■ 殺菌消毒剤などを使用する場合は

!
殺菌消毒剤などを使用する場合は、その用途・使用上の注意に従って使用してください。腐食性のあるものを使用すると故障の原因になります。

